

自己資本の構成に関する開示（三菱UFJ信託銀行・単体）

（単位：百万円、％）

項目	平成26年9月末	経過措置による 不算入額	国際様式の 該当番号	
<b>普通株式等Tier1 資本に係る基礎項目（1）</b>				
普通株式に係る株主資本の額	1,546,258			1a+2-1c-26
うち、資本金及び資本剰余金の額	736,594			1a
うち、利益剰余金の額	848,446			2
うち、自己株式の額(△)	-			1c
うち、社外流出予定額(△)	38,782			26
うち、上記以外に該当するものの額	-			
普通株式に係る新株予約権の額	-			1b
評価・換算差額等及びその他公表準備金の額	78,767	315,070		3
経過措置により普通株式等Tier1 資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	-			
普通株式等Tier1 資本に係る基礎項目の額（イ）	1,625,026			6
<b>普通株式等Tier1 資本に係る調整項目（2）</b>				
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	6,877	27,511		8+9
うち、のれんに係るものの額	103	414		8
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外のものの額	6,774	27,097		9
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-		10
繰延ヘッジ損益の額	△ 28	△ 115		11
適格引当金不足額	3,377	13,509		12
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-		13
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-		14
前払年金費用の額	29,551	118,207		15
自己保有普通株式（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	-	-		16
意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-		17
少数出資金融機関等の普通株式の額	-	-		18
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-		19+20+21
うち、その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に相当するもの に関連するものの額	-	-		19
うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に 関連するものの額	-	-		20
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	-	-		21
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-		22
うち、その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に相当するもの に関連するものの額	-	-		23
うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に 関連するものの額	-	-		24
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	-	-		25
その他Tier1 資本不足額	-	-		27
普通株式等Tier1 資本に係る調整項目の額（ロ）	39,778			28
普通株式等Tier1 資本				
普通株式等Tier1 資本の額（（イ）－（ロ））（ハ）	1,585,247			29
<b>その他Tier1 資本に係る基礎項目（3）</b>				
その他Tier1 資本調達手段に係る株主資本の額	-			31a
その他Tier1 資本調達手段に係る新株予約権の額	-			31b
その他Tier1 資本調達手段に係る負債の額	-			32
特別目的会社等の発行するその他Tier1資本調達手段の額	-			
適格旧Tier1 資本調達手段の額のうちその他Tier1 資本に係る基礎項目の額に含ま れる額	80,000			33+35
経過措置によりその他Tier1 資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	-			
その他Tier1 資本に係る基礎項目の額（ニ）	80,000			36
<b>その他Tier1 資本に係る調整項目</b>				
自己保有その他Tier1 資本調達手段の額	-	-		37
意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1 資本調達手段の額	-	-		38
少数出資金融機関等のその他Tier1 資本調達手段の額	-	-		39
その他金融機関等のその他Tier1 資本調達手段の額	-	-		40
経過措置によりその他Tier1資本に係る調整項目の額に算入されるものの額の合計額	7,169			
うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）のう ち、のれんに係るものの額	414			
うち、適格引当金不足額	6,754			
Tier2 資本不足額	-			42
その他Tier1 資本に係る調整項目の額（ホ）	7,169			43
その他Tier1 資本				
その他Tier1 資本の額（（ニ）－（ホ））（ヘ）	72,831			44

自己資本の構成に関する開示（三菱UFJ信託銀行・単体）

（単位：百万円、％）

項目	平成26年9月末	経過措置による 不算入額	国際様式の 該当番号
<b>Tier1 資本</b>			
Tier1 資本の額((ハ) + (ヘ)) (ト)	1,658,079		45
<b>Tier2 資本に係る基礎項目 (4)</b>			
Tier2 資本調達手段に係る株主資本の額	-		46
Tier2 資本調達手段に係る新株予約権の額	-		
Tier2 資本調達手段に係る負債の額	-		
特別目的会社等の発行するTier2資本調達手段の額	-		
適格旧Tier2 資本調達手段の額のうちTier2 資本に係る基礎項目の額に含まれる額	307,323		47+49
一般貸倒引当金Tier2 算入額及び適格引当金Tier2 算入額の合計額	-		50
うち、一般貸倒引当金Tier2 算入額	-		50a
うち、適格引当金Tier2 算入額	-		50b
経過措置によりTier2 資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	216,916		
うち、その他有価証券評価差額金の額	233,590		
うち、繰延ヘッジ損益の額	△ 17,015		
うち、土地再評価差額金の額	342		
Tier2 資本に係る基礎項目の額 (チ)	524,240		51
<b>Tier2 資本に係る調整項目</b>			
自己保有Tier2 資本調達手段の額	-	-	52
意図的に保有している他の金融機関等のTier2 資本調達手段の額	-	-	53
少数出資金融機関等のTier2 資本調達手段の額	-	-	54
その他金融機関等のTier2 資本調達手段の額	-	-	55
経過措置によりTier2 資本に係る調整項目の額に算入されるものの額の合計額	6,754		
うち、適格引当金不足額	6,754		
Tier2 資本に係る調整項目の額 (リ)	6,754		57
<b>Tier2 資本</b>			
Tier2 資本の額((チ) - (リ)) (ヌ)	517,485		58
<b>総自己資本</b>			
総自己資本の額((ト) + (ヌ)) (ル)	2,175,564		59
<b>リスク・アセット (5)</b>			
経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額の合計額	145,305		
うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）のうち、のれん、企業結合に係るもの以外の額	27,097		
うち、前払年金費用の額	118,207		
リスク・アセットの額の合計額(ヲ)	11,089,660		60
<b>単体自己資本比率</b>			
単体普通株式等Tier1 比率((ハ) / (ヲ))	14.29%		61
単体Tier1 比率((ト) / (ヲ))	14.95%		62
単体総自己資本比率((ル) / (ヲ))	19.61%		63
<b>調整項目に係る参考事項 (6)</b>			
少数出資金融機関等の対象資本調達手段に係る調整項目不算入額	75,249		72
その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	128,604		73
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	-		74
繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	-		75
<b>Tier2 資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項 (7)</b>			
一般貸倒引当金の額	-		76
一般貸倒引当金に係るTier2 資本算入上限額	-		77
内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-		78
適格引当金に係るTier2 資本算入上限額	55,573		79
<b>資本調達手段に係る経過措置に関する事項 (8)</b>			
適格旧Tier1 資本調達手段に係る算入上限額	80,000		82
適格旧Tier1 資本調達手段の額から適格旧Tier1 資本調達手段に係る算入上限額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	19,999		83
適格旧Tier2 資本調達手段に係る算入上限額	320,922		84
適格旧Tier2 資本調達手段の額から適格旧Tier2 資本調達手段に係る算入上限額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-		85